災害後の社会福祉施設職員の健康を守るためのヒント集

より働きやすい職場づくりのために：社会福祉施設の職場環境改善

	アクションプラン	おススメの理由	職場で展開したいですか？
1	今後の方針について、積極的に職員全員に説明します	・ 雇用の継続を含めた情報により職員の不安が解消される ・ 職員の不安が緩和されモチベーションが上がる ・ 掲示板などを活用し情報共有することで情報格差がなくなる	【　】はい 【　】いいえ メモ（その理由）
2	定期的に職場単位のミーティングを開催します	・ お互いの仕事の状況と感情を共有し、チームワークを高め、お互いに助け合う風土ができる ・ 報連相をすることでコミュニケーションがとれ、人間関係においても相互理解が深まる ・ 管理者・リーダーは環境改善のための参加の機会をチームに提供できる	【　】はい 【　】いいえ メモ（その理由）
3	管理者は職場の見回りや個別の職員に対して感謝やねぎらいの声かけを行います	・ 職員の大きな励みでモチベーションが上がる ・ 感謝の気持ちを伝えあうことで精神的疲労が軽減し、業務パフォーマンスが高まる ・ 職場全体の一体感が生まれる ・ 内的報酬（ほめること）は外的報酬（金銭的補償）よりも長期的に効果がある	【　】はい 【　】いいえ メモ（その理由）
4	職員同士・同僚間で気軽に話せる雰囲気を醸成します	・ 同じような境遇にある職員同士が経験を分かち合い、共感することで、ストレスが緩和される ・ 心理的にリラックスすることができる ・ 音楽を流す、温かい飲み物を準備するなどの環境を整えることでコミュニケーションを活性化する効果が期待できる	【　】はい 【　】いいえ メモ（その理由）
5	リラックスできる休憩室を整備します	・ 職場で質の良い休息を取ることができ、疲労が軽減する ・ １時間に１回の休憩は生産性を向上させる ・ 職員同士のコミュニケーションを活性化する	【　】はい 【　】いいえ メモ（その理由）
	追加のアイデア		【　】はい 【　】いいえ メモ（その理由）

	アクションプラン	おススメの理由	職場で展開したいですか？
6	メンタルヘルスケアを提供します	・ 部下の不調にいち早く気が付くことができ、必要に応じて専門職に繋げることができる ・ 普段から積極的にお互いに挨拶や声掛けを行うことで体調を気遣うことができる ・ 専門家の支援を受けることで経営者・職員ともに安心して仕事を続けることができる	【　】はい【　】いいえ メモ（その理由）
7	休暇を取りやすい体制づくりを行います	・ 守られているという安心感が生まれる ・ 予め休暇日程が分かっていると、労使ともに心に余裕が生まれストレスが軽減する ・ 職員が交代で連休を取得することで燃え尽き症候群を予防し、心身の疲労が軽減される ・ 十分な休息を与えると業務パフォーマンスが改善する	【　】はい【　】いいえ メモ（その理由）
8	受援が必要な場合は躊躇せずに行います	・ ボランティアやインフラ復興などの支援を積極的に受けることで、安心して働くことができる ・ 第３者機関の受援を受けることで業務負担が減り社員の疲労が軽減する ・ 受け入れないことを決めたというネガティブなうわさに対する恐れがコントロールされる	【　】はい【　】いいえ メモ（その理由）
9	人員の配置状況について検討します	・ 特定の職員への業務集中を防ぐことができ疲労軽減につながる ・ 水汲み等をボランティアに委託することで、職員がより専門的な仕事に集中することができる ・ 人員配置変更した際には担当業務ごとに責任者を定めることで業務をモニタリングできる	【　】はい【　】いいえ メモ（その理由）
10	職員が意思決定に関われる場を設けます	・ 職員自身が公正な組織に所属していると感じることができる ・ 契約と異なる仕事をお願いする際には職員の意見を聞く場を設けることで、信頼感に繋がる ・ 安全衛生委員会のような場を作り定期的に職員代表と経営層が対等に話し合うことは、職員の望む働きやすい職場環境作りに繋がる	【　】はい【　】いいえ メモ（その理由）
	追加のアイデア		【　】はい【　】いいえ メモ（その理由）